
週刊アフリカビジネス第 332 号

2017/2/13 発行

AFRICA BUSINESS PARTNERS

アフリカビジネスパートナーズ(ABP)

【今週のアフリカビジネス Q&A】(過去の Q&A から抜粋)

Q) アフリカの自動車産業の概要を教えてください。

A) アフリカの自動車産業に関しては統合された正確な数値は存在していませんが、需要面では、南ア、エジプト、アルジェリア、モロッコ、ナイジェリア、ケニアといった順で自動車(乗用車)保有台数が多く、北アフリカも含むアフリカ全体では 3000~4000 万台とされています。そのうち新車の割合は 170 万台ほどで、5~6%に留まります。また、170 万台のうち 65~70 万台は南アフリカが占めています。

供給面では、古くから南アフリカと北アフリカの各国には製造工場がありました。南アフリカは関税や租税でインセンティブがあるという政策的な理由から、北アフリカ各国は地理的な理由から、ヨーロッパへの輸出拠点として機能してきました。南アフリカにおいては、自動車産業の GDP への寄与率は 7%程度にまで上ります。

最近ではアフリカの各国政府が国内での自動車組立生産に突如として熱心になり、現地生産化が進んでいます。たとえばナイジェリアやケニアなどですが、これらの国の政府が自動車産業を誘致しているのは輸出拠点というよりも、国内需要を満たすことが目的で、これまで外貨を流出させていた自動車購入を国内で賄おうという輸入代替的な考えが背景にあります。

Q) アフリカで信頼できる弁護士事務所はどうやって見つけることができますか。

A) アフリカにおいては、弁護士事務所や会計事務所といったプロフェッショナルサービスは、会社によって(より正確にいうと個人によって)その提供サービスの水準に大きな差があります。悪くすると、とても人当たりがよい「いい人」かと思っていたら、ニセの

情報を伝えたり、騙したりといったこともあります(騙されても気づかないままであるケースも多々あります)。日本企業が利用しているからといってあなたにとってもよい事務所であるとは限りません。安易に紹介に頼らず、複数の事務所を自分で訪問して比較検討し、いつでも他のオプションを持つという姿勢でいた方がよいでしょう。

弁護士事務所については、いくつかのランキングや評価制度が存在しています。アメリカ主要国のトップファームは概ねこれらのリストに名前を連ねています。

- Chambers and Partners: <http://www.chambersandpartners.com/>
- IFLR1000: <http://www.iflr1000.com/>
- Legal500: <http://www.legal500.com/>

目次

【今週のニュース 20 本】	5
(1) 【東アフリカ】関西ペイントの連結子会社南ア Kansai Plascon Africa が、東アフリカの塗料会社 Sadolin を買収することで合意(2/8)	5
(2) 【ケニア】ケニアのカフェチェーンで、時価総額 1 億ドルと想定される Java House の買収を米ファンド 2 社、カーライルと TPG が検討していることが明らかに(2/9)	5
(3) 【ケニア】仏プジョーがケニアで自動車組立を再開へ(2/7)	6
(4) 【南アフリカ】南アフリカのパッケージ会社 Mondi が、英のパッケージ会社 Excelsior Technologies を買収(2/6)	7
(5) 【ガーナ】ガーナで初となるインスタントヌードル工場を Blow Chem Industry が設立(2/9)	7
(6) 【南アフリカ】南アフリカの製紙メーカーSappi が、今後 3 年で 3 億 500 万ドルを米国とヨーロッパの事業に投資することを明らかに(2/8)	7
(7) 【タンザニア】中国の大規模投資家がタンザニアの経済特区への投資を検討(2/6)	8
(8) 【エチオピア】エチオピア航空の事業拡大計画に対して、アフリカ開発銀行(AfDB)が 1 億 5,900 万ドルの融資を提供(2/7)	8
(9) 【エチオピア】イスラエルの衣料メーカーBagir Group が、エチオピアの JV 先から株式 50%を 190 万ドルで取得へ(2/6)	9
(10) 【セネガル】通信会社Millicomがセネガル子会社Tigo Senegalを現地のWari group に 1 億 2,900 万ドルで売却することに合意(2/6)	9
(11) 【ケニア】e コマースサイトの Jumia で取り扱っている商品の 8 割が、現地小規模業者からの出品(2/6)	10
(12) 【ケニア】ケニア初となる原子力発電所の建設開始計画に対し、フランスが原子炉開発に関する技術・設計・金融支援を提供する意向を明らかに(2/7)	10
(13) 【南アフリカ】南アフリカ中央銀行と証券集中保管機関、ならびに複数の大手銀行が、大規模ブロックチェーンの導入にむけた計画策定のために協議を開始(2/7)	11
(14) 【南アフリカ】米カーライルが、通信事業者 CMC Networks の株式を 1 億 410 万ドルで取得(2/7)	11
(15) 【エジプト】韓国 Hyundai Rotem が、エジプトの地下鉄用車両合計 256 台の車両を供給することで合意(2/6)	11
(16) 【タンザニア】トルコとポルトガル企業のコンソーシアムがタンザニアの鉄道建設事業を受注(2/6)	12
(17) 【南アフリカ】Internet of Things を事業とする IoT.next 社が、ロンドンにオフィスを開設へ(2/6)	12

- (18) 【ウガンダ】ウガンダで Chestnut Uganda が新しいショッピングモールを開発へ(2/6) 13
- (19) 【ブルキナファソ】インドの Rajarambapu グループがブルキナファソの乳製品セクターへの支援を表明(2/6)13
- (20) 【ガボン】石油メジャーTotal がガボンの太陽光発電に投資へ(2/6)14

【今週のニュース 20 本】

※先週一週間でインターネットや雑誌で報道されたアフリカビジネスに関するニュースから、20 本を選んでお届けします。見出しの後の日付はニュースの発表日を掲載しており、ニュース発表とインターネット公表で時期がずれることから、発表日が先々週以前となることもあります。

※為替換算は、レート及び換算金額ともに有効数字 2 桁 (3 桁目以降切捨て) で記載をします。

(1) 【東アフリカ】関西ペイントの連結子会社南ア Kansai Plascon Africa が、東アフリカの塗料会社 Sadolin を買収することで合意 (2/8)

<http://www.kansai.co.jp/new/press17/20170208.pdf>

<https://www.ft.com/content/95296c7e-e3b7-11e6-8405-9e5580d6e5fb>

http://www.nikkei.com/article/DGXLASHD08H0R_Y7A200C1000000/

関西ペイントの連結子会社である南アフリカ Kansai Plascon Africa が、塗料会社 Sadolin のケニア法人、ウガンダ法人、タンザニア法人の 3 社を完全買収することで合意した。買収額は明らかにされていないが、東アフリカにおいてこの 2 年以上で最も大型の企業買収であるという。

これら 3 社合計の売上高は、2015 年で 8,550 万ドル、営業利益は 1,370 万ドル。2016 年の売上見込みは 8,700 万ドルとなる。3 社は、世界塗料大手のオランダ Akzo Nobel の製品を扱っており、ロイヤリティーを支払っている。かつては Akzo Nobel が 3 社を保有していた。

Kansai Plascon Africa はアフリカの中間層拡大とインフラ支出の増加からアフリカ市場の成長に前向きな見通しを持っていると述べている。塗料事業は全ての産業の成長に関連して動くものだという。今回の買収は、自動車塗装から、新興国において強固な成長領域である列車や産業機械用のなどの塗料へと多様化するための同社の戦略の一端である。

関西ペイントは、企業買収を通じて世界の塗料会社の 3 位以内に入ることを目指すと表明していた。アフリカで積極的な買収を行っており、2016 年はナイジェリアで塗料会社を買収した。今後、ナイジェリアを拠点にガーナ、セネガルなどの西アフリカにもビジネスを拡大する。

(2) 【ケニア】ケニアのカフェチェーンで、時価総額 1 億ドルと想定される Java House の買収を米ファンド 2 社、カーライルと TPG が検討していることが明らかに (2/9)

<http://www.businessdailyafrica.com/Corporate-News/US-PE-funds-Sh10bn-bid-Java-restaurants/539550-3805878-fa5ig2z/index.html>

ケニアの代表的なカフェチェーンである Java House の買収を、米ファンドのカーライルと TPG が検討していることを情報筋が明らかにした。時価総額 1 億ドルと想定される Java House の買収を狙う企業は機関投資家をはじめ多い。Java House の年間収益額は 40 億シリング (40 億円)。

Java House の株式は現在、2012 年に 2 人の米国人創業者から買収した米ファンド Emerging Capital Partners (ECP) が 90% を保有している。関係者が口をつぐむ中、この動きが敵対的買収なのか、ECP のエグジットに伴い持ち上がった部分的な引受なのかは明確でない。今回の買収が合意に至れば、ケニアの飲食産業において最大の買収金額となる。

Java House は 1999 年の創業以来店舗を拡大し、現在はナイロビのみならず、モンバサのようなナイロビ以外の都市、さらにはウガンダのカンパラなども含め、50 店舗以上を展開している。最近では、フローズンヨーグルトチェーンの Planet Yogurt とピザレストランの 360 Degrees の 2 ブランドを立ち上げている。

同社の成長は、一回の食事に数百シリング (数百円) を支払うことができる中間層を対象顧客にカジュアルな食事を提供するチェーン店を展開する事で支えられてきた。2016 年 Economic Survey によると、ケニアの 1 人当たり国民所得は、2011 年の 9 万 4,235 ケニアシリング (9 万 4,000 円) から 2015 年には 48.5% 上昇し 13 万 9,972 ケニアシリング (13 万円) となっている。国民総可処分所得は、同時期比で 63.8% 上昇し 6 兆 5,000 億ケニアシリング (6 兆 5,000 億円) に達している。

※1 ケニアシリング=1.0 円 (ブルームバーグ、2/10)

(3) 【ケニア】仏プジョーがケニアで自動車組立を再開へ (2/7)

<http://www.businessdailyafrica.com/Corporate-News/Kenya-vehicle-output-boost-Peugeot-car-assembly/539550-3803286-q3yjue/index.html>

<http://af.reuters.com/article/kenyaNews/idAFL5N1FP0AC?feedType=RSS&feedName=kenyaNews>

仏自動車大手 PSA・プジョー・シトロエン (以下プジョー) は、同社の車種 508 と 3008 の組立生産をケニアで開始する。現地 URYSIA と提携し、年間 1,000 台を生産する。

ケニアでは 1990 年代に安価な中古車の輸入を奨励する政策によって、現地の組み立て産業が衰退し、プジョーも 2002 年にケニアの工場を閉鎖していた。現在では雇用創出と成長の促進のために政府は自動車メーカーの誘致を促進している。直近では 2016 年に、独フォルクスワーゲンがケニアにおける自動車組立生産を開始している。プジョーの再開によって、ケニアでの自動車生産台数が 3 年間で 43% 引き上げられ、1 万台に達する見込みがある。

ケニアでは、2016 年の新車販売台数が 1 万 4,000 台で、中古車輸入台数が 7 万台だったという。新車販売台数の 1 万 4,000 台のうち、現地で生産された台数は約半数で、そのほとんどがトラックや軽商用車であった。

(4) 【南アフリカ】南アフリカのパッケージ会社 **Mondi** が、英のパッケージ会社 **Excelsior Technologies** を買収 (2/6)

<http://af.reuters.com/article/investingNews/idAFKBN15L0YE>

<http://www.engineeringnews.co.za/article/mondi-acquires-uk-food-packaging-manufacturer-for-33m-2017-02-06>

南アフリカのパッケージ会社 **Mondi** が、英国のパッケージ会社 **Excelsior Technologies** を、プライベートエクイティ **Endless LLP** 並びに少数株主から 4,100 万ドルで買収した。

Excelsior は、主に食品向けのパッケージを製造しており、電子レンジのスチームクッキング用パッケージ技術を保有している。2016 年の売上は 3,900 万ポンド。

Mondi は、世界 30 か国以上で事業を展開し、消費者向けパッケージ・紙製品を製造・販売している。

(5) 【ガーナ】ガーナで初となるインスタントヌードル工場を **Blow Chem Industry** が設立 (2/9)

<http://www.ghanaweb.com/GhanaHomePage/business/Ghana-gets-first-noodles-factory-508533>

ガーナにおいて **Blow Chem Industry** が、**Yum-mie noodle** の生産を開始した。ガーナではじめてのインスタントヌードル工場となる。すでに輸入ラーメンが棚を占め、競争がある中での販売となる。

フレーバーは全部で 6 つで、チキン、ペッパーチキン、オニオンチキン、ペッパービーフ、ジョロフ、ビーフ、ライトスープ。

(6) 【南アフリカ】南アフリカの製紙メーカー **Sappi** が、今後 3 年で 3 億 500 万ドルを米国とヨーロッパの事業に投資することを明らかに (2/8)

<http://www.engineeringnews.co.za/article/sappi-to-invest-305m-in-us-europe-mills-2017-02-08>

南アフリカの製紙メーカー **Sappi** が、今後 3 年で 3 億 500 万ドルを米国とヨーロッパの事業に投資することを明らかにした。

2017 会計年度の第 1 四半期レポートによると、米国の製紙工場に 1 億 6,500 万ドル、ヨーロッパの特殊パッケージング用紙事業の能力拡大支援のための複数のプロジェクトに 1 億 4,000 万ドルを、それぞれ投資する。米国の製紙工場では、紙製パッケージング市場の成長に向けた強固なプラッ

トフォーム設置のために、2018 年までに生産能力を年間 18 万トン向上させる。ヨーロッパでは、特殊パッケージング用紙の生産能力向上と、グラフィックペーパーの低価格生産を実現させる。

Sappi によると、成長市場に対する投入を増やし、同時に成長がこれ以上見込まれないグラフィックペーパー市場の縮小を同時に進めるといふ。

第 1 四半期レポートによると、Sappi は EBITDA が毎年 15% 増えている。同期の利益は 9,000 万ドルで、2016 年第 1 四半期は 7,500 万ドルであった。

(7) 【タンザニア】中国の大規模投資家がタンザニアの経済特区への投資を検討(2/6)

<http://www.busiweek.com/index1.php?Ctp=2&pI=5884&pLv=3&srI=49&spI=27&cl=10>

1,000 近い中国の大規模投資家が、繊維、製造業、漁業、鉱業、農業を含むタンザニアの経済特区への投資を検討している。Tanzania Overseas Chinese Association の会長が明らかにした。

同氏によると、ダルエスサラームの中国ビジネスコミュニティが、同国の社会経済開発促進のため、Magufuli 大統領の第 5 次政権と緊密に協力していくことを約束したとし、同政府が貿易・投資環境の改善を進めていることから、今後もさらなる中国人ビジネスマンがタンザニア市場への進出目指すだろうと述べた。AidData が示すところによると、中国は 2012 年時点でタンザニアの最大の貿易パートナーで、ダルエスサラーム港の輸出入額の 15% は中国によるものである。

最近で両国は、中国輸出入銀行が融資する何十億ドルによる 19 のプロジェクトを合意した。Bagamoyo 港の建設も含まれ、他には中国国営企業 Merchants Holdings は Bagamoyo と Mlandizi を結ぶ 34 キロメートルの道路建設を受注している。さらに、中国は、ダルエスサラームと Mtwara ガス田を結ぶ 523 キロメートルのラインに 12 億ドルのソフトローンを、タンザニア政府と中国輸出入銀行の間で合意、供与している。

タンザニアは 2001 年から 2011 年にかけて 46 億ドルの融資を中国から受けている。また、中国のタンザニアに対する直接投資は 2011 年の 7 億ドルから 2016 年は 21 億ドルまで増え、中国は東アフリカ諸国にとっての最大の外国投資家となっている。

(8) 【エチオピア】エチオピア航空の事業拡大計画に対して、アフリカ開発銀行(AfDB)が 1 億 5,900 万ドルの融資を提供(2/7)

<http://www.theeastafrican.co.ke/business/Ethiopian-Airlines-gets-USD159m-loan-from-AfDB/2560-3803420-13i7a0a/index.html>

エチオピア航空の事業拡大計画に対して、アフリカ開発銀行(AfDB)が 1 億 5,900 万ドルの融資を提供した。同事業計画では、保有機体台数を今後 10 年間で現在の 80 機以上から 140 機にする。また、現在サブサハラアフリカで最も成長している航空会社として、2025 年までに売上 100 億ドル

を達成することや、乗客数を現在の年間 700 万人から 1,800 万人まで増やすことを目指している。

今回の AfDB の融資は、2016 年にエチオピアにおいて事業開始が認められた、アフリカ貿易保険期間 (ATI) の保険がカバーする初めての案件となる。

エチオピア航空の 2015-2016 会計年度の売上は 24 億 3,000 万ドルであった。

(9) 【エチオピア】イスラエルの衣料メーカー Bagir Group が、エチオピアの JV 先から株式 50% を 190 万ドルで取得へ (2/6)

<http://www.digitallook.com/news/aim-bulletin/bagir-group-to-buy-remaining-50-stake-in-ethiopian-manufacturing-site-for-19m--2511811.html>

イスラエルの衣料メーカー Bagir Group が、エチオピアでのジョイントベンチャー Nazareth Garments の株式 50% を 190 万ドルで取得する。株式はジョイントベンチャーの提携先である Kassaye Mekuria Mindesyil とその家族、Senait Bekele Zewudu、Lamenew Mekuria Mindesyil、その他メンバーとその家族から買収する。

Bagir は、2014 年 11 月に Nazareth Garments から 50% の株式を取得して以降、エチオピアの工場に新たに機械を導入する直野投資をし、2016 年後半にはスウェーデンの H&M からの国際輸出受注を完遂した。米国の Haggard Clothing からの試作オーダーも受けている。

Bagir は、今後 5 年間で Nazareth Garments に対するさらなる投資を行い、事業を拡大させる意向。英国と米国へ非課税で輸出できるというエチオピアの利点や、低い生産コストやエネルギーコスト、ヨーロッパへの近接性といった戦略的アドバンテージを生かしていくという。同社は事業拡大計画の第 1 ステージとして約 300 万ドルの投資を計画している。

(10) 【セネガル】通信会社 Millicom がセネガル子会社 Tigo Senegal を現地の Wari group に 1 億 2,900 万ドルで売却することに合意 (2/6)

<http://www.reuters.com/article/senegal-telecoms-idUSL5N1FS6YO>

ルクセンブルクの通信会社 Millicom International Cellular が、同社のセネガル子会社 Tigo Senegal を現地の Wari group に 1 億 2,900 万ドルで売却することに合意した。

Millicom は 5,700 万人以上の顧客に携帯サービスを提供している。Wari は、アフリカで送金 50 万店舗、支払 4 万 5,000 店舗を展開し、電子金融サービスを提供している。Tigo はセネガルで Wari に次いで 2 番目に大きい携帯電話事業者。

電子金融サービスは、スマートフォンの使用拡大に伴いアフリカで急速に拡大している。Wari は今回の取引によって、通話市場に初めて参入することになる。

(11)【ケニア】e コマースサイトの Jumia で取り扱っている商品の 8 割が、現地小規模業者からの出品 (2/6)

<http://www.biztechafrika.com/article/kenyan-smes-leverage-e-commerce-compete-big-boys/12161/>

ケニアの e コマースサイト Jumia が同社の販売状況を明らかにした。それによると、Jumia のプラットフォームで売られている商品のうち、8 割が、最近始めたばかりの認定小規模業者からの出品であるという。小規模業者の伸びが、2016 年の同社のパフォーマンスの 45%の成長を支えた。また、商品も多様化しており、取扱品目は、消費財(前年比100%以上)、美容(前年比80%)、乳児子供向け玩具(前年比 44%)などの新しいカテゴリーが加わり、急速に多様化している。また、自動車、書籍、文房具などの今まで注目を浴びなかったカテゴリーもある。

2016 年、ケニアのオンラインサイトでの購買力は、100 億シリング(110 億円)を達し、2014 年の 24 億シリング(26 億円)から大幅に成長している。

※1 ケニアシリング=1.1 円(ブルームバーグ、2/9)

(12)【ケニア】ケニア初となる原子力発電所の建設開始計画に対し、フランスが原子炉開発に関する技術・設計・金融支援を提供する意向を明らかに(2/7)

<http://www.nation.co.ke/business/France-joins-suitors-for-Kenya-s-nuclear-plant-venture/996-3803278-ik8f92z/index.html>

ケニア初となる原子力発電所の建設開始計画に対し、フランスが原子炉開発に関する技術・設計・金融支援を提供する意向を明らかにした。同計画は 2022 年から建設を開始し、5 年間で約 5,000 億ケニアシリング(5,000 億円)を投じる。ケニア原子力発電委員会(KNEB)は、建設予算は 2 兆ケニアシリング(2 兆円)で、少なくとも 4 か所の原子力発電所の建設を計画している。

現在までに中国、ロシア、韓国、スロバキアが、人材育成や技術交流などについて多様な関心を表明している。ケニア初の原子炉は、現在のケニアの発電容量の 42%にあたる 1,000 メガワットの発電容量を持つ。

一方で、イタリアとドイツのエネルギー専門家は、莫大な費用と約 10 年にわたる建設費用、発電所の廃炉時にかかる高額な費用、原子力廃棄物の有害性などから、ケニアに対して同計画を廃棄し、風力や太陽光、地熱などの再生可能エネルギー開発への移行を進言している。

※1 ケニアシリング=1.0 円(ブルームバーグ、2/10)

(13)【南アフリカ】南アフリカ中央銀行と証券集中保管機関、ならびに複数の大手銀行が、大規模ブロックチェーンの導入にむけた計画策定のために協議を開始(2/7)

<http://www.coindesk.com/south-africas-biggest-financial-power-players-just-went-blockchain/>

南アフリカの中央銀行と証券集中保管機関(CSD)そして複数の大手銀行が、大規模ブロックチェーンの導入に向けた会合を開催した。

1日平均35万件の取引を行うStrateは、他のワーキンググループメンバーと協力してブロックチェーンの方向性を決定している。南アフリカのヨハネスブルグで開催された今回の会合では、ブロックチェーン作業部会の会長、事務局を選出し、今後の戦略目標を設定した。会合には、FirstRand Group、Standard Bank、Absa/Barclays Africa、Nedbankがおり、実際のブロックチェーン製品の構築と実施に必要なほぼすべての参加者を得ている。

ブロックチェーン作業部会は、教育・使用モデル開発・技術構築の3つのストリームに分けられる。

(14)【南アフリカ】米カーライルが、通信事業者CMC Networksの株式を1億410万ドルで取得(2/7)

<http://www.agenceecofin.com/investissement/0702-44618-carlyle-group-finalise-l-acquisition-du-sud-africain-cmc-network-dans-un-deal-evalue-a-pres-de-104-1-millions>

米国のカーライルグループが、アフリカで通信事業を行っており、Investec Private Equityが持つ技術サービスに特化しているCMC Networksの株式取得を完了したと発表した。取引額は約1億410万ドル。

2016年11月に発表された際には、Carlyleは本取引でCMC Networksの主要株主になるとされていた。CMC Networksはアフリカ・中東70か国で事業を展開しており、アジアやラテンアメリカの新市場への進出を狙っている。

(15)【エジプト】韓国Hyundai Rotemが、エジプトの地下鉄用車両合計256台の車両を供給することで合意(2/6)

http://www.koreatimes.co.kr/www/nation/2017/02/693_223383.html

<http://www.agenceecofin.com/investissements-publics/0602-44573-egypte-hyundai-rote-m-remporte-un-marche-de-fourniture-de-wagons-au-metro-du-caire-pour-380-millions>

韓国の Hyundai Rotem は、カイロメトロ向け地下鉄車両合計 256 両を、総額 3 億 8,070 万ドルで供給する契約を締結した。同契約は、Hyundai のアフリカ大陸の契約では最大となる。この契約では、カイロ国際空港と Ataba 駅間の 45.5km の東西地下鉄路線であるカイロのメトロ 3 号線に、地下鉄車を供給する。契約には納入後 8 年間のメンテナンス契約も含まれる。納入は 2018 年に開始、2020 年までに完了の予定。

今回の納入に当たり、韓国の下請け事業者 80 社も、この案件を通じてアフリカ市場に進出するという。

(16)【タンザニア】トルコとポルトガル企業のコンソーシアムがタンザニアの鉄道建設事業を受注 (2/6)

<http://www.theeastafrican.co.ke/business/Tanzania-railway-construction/2560-3801608-6plii9/index.html>

トルコの Yapi Merkez Insaat Ve Sanayi とポルトガルの Mota-Engil, Engenharie and Construcao Africa のコンソーシアムが、タンザニアにおけるダルエスサラームーモロゴロ間の 205km の標準軌鉄道建設事業を受注した。応札者は 39 社だった。

総事業費 12 億 1,500 万ドルのうち、政府は 5 億ドルを確保済みで、残りは開発パートナー及び金融機関からの調達を期待する。

建設期間は 2 年半。完成後は、160km/時で、年間 1,700 万トンを運ぶことができるようになる。

タンザニア政府は標準軌で主要港ダルエスサラームから、コンゴ民主共和国、ザンビア、ルワンダ、ウガンダをつなぐ 2,561km の標準軌鉄道建設を計画する。

(17)【南アフリカ】Internet of Things を事業とする IoT.nxt 社が、ロンドンにオフィスを開設へ (2/6)

<http://www.itnewsafrika.com/2017/02/south-african-iot-company-expands-to-the-uk/>

南アフリカの Internet of Things の事業会社 IoT.nxt は、2017 年初頭にロンドンに事務所を開設する。IoT.nxt 南アフリカの 2 人のメンバーが、オフィスの立ち上げを実施する。2016 年創立の同社は、南アフリカ市場での急成長を経て、世界の IoT 市場に参入する基盤としてロンドンオフィスを設立する、と IoT.nxt は説明する。

同社は既に、南アフリカの企業向けに IoT 戦略とソリューションを考案、実装している。例えば、大規模炭鉱、南アフリカ最大のカーディーラーネットワーク、小売向け畜肉肉処理会社がある。IoT ソリューションの使用は、技術ではなくむしろビジネス戦略に関するもので、IoT 利用により効率が工場、企業収益を改善し、運用コストの削減を目指している。

同社は、イギリス進出について、南アフリカとイギリスの間の通商関係、本社と支店間のコミュニケーションの容易さから英国を選択し、更には欧州への進出基盤としての役割も期待している、としている。

(18)【ウガンダ】ウガンダで Chestnut Uganda が新しいショッピングモールを開発へ(2/6)

<http://www.busiweek.com/index1.php?Ctp=2&pI=5858&pLv=3&srI=%2068&spI=&cl=10>

ウガンダの Chestnut Uganda は、南アフリカのエクイティファンド STANLIB と共同で、カンパラ市内に 5,000 万ドルの高級ショッピングセンター、アリーナモールを開発する予定。敷地面積 5 エーカーで、建設予定地はカンパラ市郊外の Nsambya。

建設資金の 50%は、南アスタンダード銀行、残りは STANLIB と Chestnut Uganda のオーナーが拠出する。アリーナモールは、Makindye 地区の Nsambya 近郊で中央のビジネス街区から 2km の場所に位置しており、床面積は 14,000 平方メートル、建設期間 12 ヶ月間の予定。

ウガンダでは、ミニモールや商業ビルの他、Entebbe に新しいショッピングモール Imperial mall が建設されたばかりであるが、これらのビルは大半が空きテナントが残っており、アリーナモールのような 14,000 平方メートルの広さを埋めるテナントが見つかるかは疑わしい状況にある。

一方で、こうした商業物件の空き状況については、ウガンダの現地通貨がドルのような外貨に対して弱くなったことや、地元のテナントが支払いきれないほどの賃貸料の値上がりや、モール設計の不十分さ、モール立地の悪条件などを理由としている。

(19)【ブルキナファソ】インドの Rajarambapu グループがブルキナファソの乳製品セクターへの支援を表明(2/6)

<http://lefaso.net/spip.php?article75634>

インドの教育・農業セクター支援を専門とする Rajarambapu グループは、ブルキナファソの乳製品セクターへの支援に関心を表明した。ブルキナファソは国家計画で乳製品セクターの近代化を目指している。

Rajarambapu グループはその知識と経験を提供する。具体的には 500 頭の乳牛の輸入と搾乳、乳製品セクターに特化した組合銀行の設立、1 時間あたり 500 リットルを基準とする増産などを行う。この過程で両国の乳製品組合の交流が生まれる

Rajarambapu グループは、家畜、食糧、搾乳及び加工センター、農業教育などの分野で実績を有する。

(20)【ガボン】石油メジャーTotal がガボンの太陽光発電に投資へ(2/6)

<http://www.agencecofin.com/solaire/0602-44542-total-va-investir-dans-l-energie-solaire-au-gabon>

仏石油メジャーTotal はガボンへの協力を継続し、特に投資の面から石油の増産と、ガボンでの太陽光発電を早急に開始すると述べた。Total がスポンサーとなっている、サッカーのアフリカネイションズカップに際し、開催国のガボンを訪問した同社 CEO が、ガボン大統領との会談で明らかにした。

週刊アフリカビジネス

2017年2月13日 第332号

発行者:アフリカビジネスパートナーズ

問合せメールアドレス:weekly@abp.co.jp

Website:<http://abp.co.jp>